



「農村歌舞伎 祇園座」

香川県高松市香川町東谷に伝わる『農村歌舞伎 祇園座』は江戸時代後期の文政年間(1818~1830)に、阿波(徳島県)へ藍染めの出稼ぎに行った若者たちが習ってきた芝居を、地元平尾八幡神社の祭礼に演じたのが始まりとして言われている。古くから伝わる座名も、下谷地区に歌舞伎をしていた者が多くいたため『下谷歌舞伎』『下谷若連中』と呼ばれていたが、東谷の人々が朝夕拝む祇王山(愛称:ぎおんさん)に因み『祇園座』と改称され今に至る。

■香川県指定無形民俗文化財【昭和40年】

■高松市指定有形民俗文化財【昭和61年】

第20回

農村歌舞伎祇園座公演

観覧
無料

令和7年 4月27日(日) 10:00-15:00 農村歌舞伎小屋 祇園座 高松市香川町東谷1550番地 平尾八幡神社境内
主催/ユネスコ未来遺産運動登録団体 香川町農村歌舞伎保存会